



果樹を植えませんか？

村井 俊治

庭にどのような木を植えるかは勝手です。昔ながらの庭で玄関に松があり、フライパンのような形の刈り込みの柘植の木があるのを見かける時があります。余りにも植木屋さんの手が入りすぎて、枝がやたらと切られて痛ましい感じがします。私は弄くり過ぎた庭を好きになれません。一番ひどいのは街路樹です。電線にかかるのを防ぐためでしょうか、道路沿いにある街路樹は冬に枝をバサリと切られてしまいます。手足をもいだようでも可哀相です。本来は電線を地中に埋めるべきです。

私が土地付きの家を建てたときはとても貧乏でした。植木屋さんに庭を手入れしてもらおうようなお金はありませんでした。そこで思いついたのは、果樹を植えることでした。埼玉県熊谷に住む学生が棒のような 50cm くらいの果樹の苗木を持ってきてくれました。柿、栗、梅、杏です。6 本ありました。現在残っているのは、柿と梅です。36 年になります。ほかに葡萄と枇杷を植えたので、果樹は 4 本あることになります。栗はとても大きな実をつけていました。タイに滞在しているとき、干ばつの年があり、枯れてしまいました。杏は木が込みすぎたので、知人に上げました。

最初の数年は実がなりませんでしたが、そのうち実がつき始め、毎年家族はとても楽しみました。特に子供は実を採るのに興奮しました。人間は実を採る本能を持っているようです。老人になった我々夫婦でも実を収穫するのはとても嬉しいです。最近までは、素人の剪定をしていました。2 年おきに成り年があります。沢山取れた年はとても幸せになります。

味はとてもよいです。柿はお歳暮にもらう富有柿より美味しいです。食べ過ぎます。柿は催尿の効果がありますので、トイレが近くなります。ビタミン C が豊富です。梅は、完熟にしてジャムにします。時々道路の落ちた梅の実を小学生が欲しそうにします。たまたま出会うと「実を採って良いよ」と声をかけてあげると喜びます。塀がない我が家の庭には誰でも入れます。葡萄はやはりジャムにします。孫達にハサミで採ってもらう機会を設けます。偉く張り切ります。成り年には 10kg 以上も採れます。枇杷は、実を食べますが、葉も使います。生姜をすり、枇杷の葉を細かく切り、小麦粉で練ります。これを湿布代わりにすると、打ち身や捻挫に市販の湿布剤より効果が高いです。

果樹は我が家の家族のような存在です。実の成る季節に自己主張をします。主張にキチンと応えるのが果樹に対する礼儀です。

皆さんも果樹を植えませんか？

